

日本共産党が初めて国会で告発 その実態

休職者の42%が精神疾患

- 入社3年以内に50%以上が離職
- 休職者の42%がうつ病などの精神疾患
- 20歳代の有名大学出身の社員が入社半年で店長。目標達成からアルバイトの管理まで過酷な労働を強いられ、3ヵ月でうつ病になり退職

ワタミ 年480時間超の残業

元正社員 Aさんのケース（2年間勤務）

- 月45時間の時間外労働を超えた月が6ヵ月、年間で480時間超
- 「所定勤務重複等調整」と称し多い月は数万円の内容不明の天引き。“死ぬほど残業”でも手取り十数万円
- 休日でもワタミの経営理念や著作の学習・レポート提出



ワタミ・渡辺美樹会長（当時）「ワタミには、『365日24時間死ぬまで働け』という言葉がある」



居酒屋チェーン「大庄」 「月80時間残業しないと減給」「大庄の『日本海庄や』に勤務していた滋賀の24歳の青年が過労死

ブラック企業て？

かつては暴力団のフロント企業という意味で使われていたが、数年前から違法・無法な働き方で労働者を使い捨てる企業を指すようになった。有名企業にも広がり社会問題に。

典型的なやり方の一つは、新卒の若者を正社員として大量に採用。過大な仕事を与え、長時間労働とパワハラで選別。その過程で多くの若者が精神疾患となり、退職に追い込まれる。

なぜ横行？

背景に労働の規制緩和



「ブラック企業なくせ」と労働者と懇談する共産党の辰巳孝太郎参院議員（中央）ら

「ブラックな働き方」根絶を

なぜブラック企業が横行するのか。財界と自民党政権による労働法制の規制緩和で、非正規雇用を拡大してきたからです。その結果、若者の半数が非正規におかれ、“代わりはいくらでもいる”状態がつけられました。

大事なことは個別の企業、経営者だけをやり玉に挙げるのではなく、個別の例を追及しつつ、日本から「ブラックな働き方」をなくすことです。

そのための総合対策が急がれます。

日本共産党

あなたの働き方 ブラック度チェック

（複数回答可。制作：民主青年同盟東京都委員会）

- 残業代がまったく出ない 残業代が一部しか支払われない サービス残業がある
- 1日あたり12時間以上働くことがある ひと月あたり240時間以上働くことがある 基本給が低い
- 就業規則を見たことがない 根拠のない天引きや半強制的な寄付などがある 社会保険に入れない
- 契約内容と違う業務がある 違法行為をさせられる パワハラがある セクハラがある ノルマがきつい
- 休憩時間が短い 休日出勤がある 有給休暇がとりづらい 病気でも休めない 生理休暇がとれない
- 妊娠・出産で職場復帰ができない 育児休暇がとりづらい 心身の健康を損なう人が多い 突然の解雇がある
- 離職する人が多い 辞めさせてもらえない その他



厚労省が4000社を調査

厚生労働省は世論に押され、9月の1ヵ月間、離職率が高い企業約100社をはじめ、過重労働や法違反の疑いのある約4000社を対象に立ち入り調査しました。重大・悪質な違反が確認された企業は送検し、企業名を公表することを打ち出しています。